第17回星祭 ～旧七夕まつり～

　８月１６日から２３日まで、吉井勇記念館で第17回星祭が開催されました。吉井勇が初めて猪野々を訪れたのは、旧暦の七夕の頃です。当時、勇が見たであろう昔ながらの七夕飾りを、猪野々地区の皆さんに協力をいただき、再現しました。
　また、２２日には１８時から２１時まで記念館の夜間開館も行われ、渓鬼荘にも灯りがともりました。小中学生が書いた短冊も飾られ、参加者は夕方から夜にかけての風情ある景色を楽しんでいました。

香美市企人連研修会開催

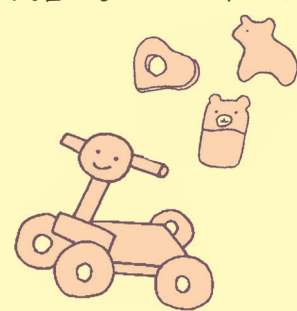
　７月２１日と７月３０日、中央公民館で香美市企業等人権啓発連絡協議会（会長：楠目隆）主催の研修会が行われました。
　７月２１日には、『プラスチック・フリー生活』を翻訳された、服部雄一郎さん（香北町在住）を講師に『プラスチックのお話』について研修会が開催され、市内１２ヵ所の企業等から３８名が参加しました。
　７月３０日には、社会保険労務士の高橋卓弥さんを講師にパワーハラスメント研修会が開催され、市内１７ヵ所の企業等から４３名が参加しました。

▲７月２１日、プラスチックについての研修会

香美市森林環境税活用事業　申し込みいただいた方からの投稿を募集しています！！

かみんぐBABY木のギフト

『木のギフト』お便り紹介

まはなちゃん、あさとくん、りつきくん
　木の香りがとっても良い匂いです。子どもたちも「私の、僕のおもちゃ箱～♪」と大喜び♪

ほのりちゃん
お部屋でも、お風呂の中でも遊んでいます。木のやさしい手触りが大好き♪

香美市の赤ちゃんに『木のギフト』をプレゼントしています。詳しくは、新生児訪問の際にお渡しするパンフレットをご覧ください。　【問い合わせ先】農林課林政班　☎52－9283
Ｅrinsei@city.kami.lg.jp

第４２回葉山センダン杯

▲準優勝の『山田ジュニアーズ』

　８月１日から４日にかけて、葉山運動公園総合センターグラウンドで第４２回葉山センダン杯が開催されました。葉山センダン杯は１９７９年から葉山地区の少年野球チームの指導者や保護者を中心に始まった大会です。
　各地域から５１組の少年野球チームで優勝を争い、本市からは『山田ジュニアーズ』と『楠目スポーツ少年団』が出場し、熱戦の末『山田ジュニアーズ』が準優勝しました。

物部川源流域に感謝米贈呈

　物部川の源流域である物部町の別府、別役、市宇、岡ノ内、桑の川、小浜、根木屋の集落95世帯へ、山田堰井筋土地改良区より感謝米が贈られました。
　同改良区は、物部川から取水し香美市・南国市・高知市の農地に配水している農業団体で、この取り組みは、日々農業を営むことができるのは源流域に暮らす方々が地域の自然や山の管理をしてくれているお陰であるという感謝の気持ちをお米に託したものです。高知平野で収穫された新米３kgの米袋が、物部町の民生委員さんの協力を得て届けられました。

まちの話題

第65回永瀬ダム関係物故者慰霊祭

　８月１４日、市役所物部支所で永瀬ダム関係物故者慰霊祭が執り行われました。昭和３１年の永瀬ダム竣工から毎年８月１４日に、永瀬ダム建設犠牲者２５名の霊を慰め、ダムの安泰を祈願する目的で、永瀬ダム管理事務所長を祭主に、永瀬ダム関係物故者慰霊祭共催会の主催で執り行っています。物部町内の事業所をはじめとする関係各所より寄付やお供えを頂き開催しています。
　今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参列者を例年の約３分の１に規模縮小し、共催会８名、来賓として香美市長・香美市議会議長ほか３名が参列し、僧侶・神官をお招きし執り行われました。

漫画家への第一歩

　８月５日、中央公民館で本市出身の漫画家正木秀尚さんを講師に迎え、香美市こども教室『まんが教室』が開催されました。定員をはるかに超える申し込みがあり、講座数を増やして午前の部と午後の部で開催されました。
　教室に参加した子どもたちは、講師のアドバイスを熱心に聞き、懸命に漫画を描いていました。子どもたちからは「まんがを描くには？」「顔はどこから描いたらいいか？」など様々な質問が飛び交い、漫画家の仕事に触れることのできる良い機会となったようです。